

日頃から従業員の希望や欲求に留意して、従業員が納得して仕事に臨んでいるかを確認する必要があるのです。

四つ目は褒めることと、叱ることがあげられます。褒めるためには従業員の役割や、その能力を鑑み、従業員毎に基準を考えねばなりません。一方で叱る時には、従業員を育てる責任感をもつことが求められます。また、結果ではなくプロセスに関して叱ることが大切です。褒めることと、叱ることのバランスは3：1ぐらいがよいでしょう。

そして五つ目として成長するチャンスを与えることがあげられます。これは従業員に同じ仕事ばかり繰り返させるのではなく、時に仕事環境を変えたり、いつもと違う面からの質問をして考えさせることで、思考や、行動のパターンに変化をもたらし、刺激を与えることで成長を促すということです。

以上、紹介した人材育成のポイントは、頭の中で考えると簡単なように思えますが、実際に経営者として社員に対して実践するのは非常に難しいものです。しかし、これを手助けするツールとして、現在は多くの人材育成や人事管理に関する書籍が出版されていますし、また、前述の「農業法人人材育成プログラム」のように経営者が実践しやすく体系立てられたプログラムも用意されています。こういったツールを有効に活用しながら、従業員のやる気を引き出すことで、より経営を発展させていくことができるのではないのでしょうか。

★「農業法人人材育成プログラム」に関するお問い合わせはこちらへ

○ 全国農業会議所新規就農・人材対策部 担当：堀部

TEL：03-6910-1126

○ 農林水産省 経営局 経営政策課 農業法人班

代表：03-3502-8111(内線5134)

直通：03-6744-2144

■ ご意見・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/eaba.html>

◆◆◆お知らせ◆◆◆ ～「6次産業化の推進に関するワンストップ窓口」を設置～

11月26日に6次産業化法が可決、成立しました。農林水産省では、農山漁村に由来する農林水産物、バイオマスなどの資源を有効に活用し、地域ビジネスの展開や新産業の創出を図ることを通じて、農山漁村の雇用の確保と所得の増大を図る「農山漁村の6次産業化」を推進しています。

このため、農林漁業者をはじめとした6次産業化に取り組む意向を持つ方々の相談に応じ、きめ細かなサポートを行えるよう、「6次産業化の推進に関するワンストップ総合受付窓口」を下記のとおり地方農政局等に設置しましたので、積極的に御相談ください。

★ 6次産業化の推進に関するワンストップ窓口の連絡先等

→ <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/sanki/6jika/1stop.html>

◇◇◇編集後記◇◇◇

いよいよ12月に入り、今年も残すところ後一ヶ月になりました。寒さも一層厳しくなり、体調を崩される方もいらっしゃるかと思います。どうぞご自愛くださいませ。

さて、編集担当をさせていただいてからまだわずかではありますが、毎号メールマガジンを発行する度にお問い合わせや、ご意見をいただいております。現場の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。ご返信についてはできるだけ早く対応できるように努めておりますが、ご質問の中には非常に難しいものもあり、どうしても時間がかかってしまうことがあります。そういった場合にはどうぞご容赦くださいませ。また、当メールマガジンは現場の皆様方との「双方向の情報受発信を行うためのツール」として活用されることを目指しております。これからも、ぜひ問い合わせ窓口より、皆様方のご意見をいただき、より現場の役に立つ内容を盛り込んで行きたいと思っております。よろしく願いいたします。

(Hy)



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月2回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：橋本、表谷

☆ 農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_mailmaga/index.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

